

『地域密着型金融』の取組み状況について

(平成20年4月 ~ 平成21年3月)

山梨県民信用組合は、平成17年4月から平成19年3月までの「アクションプログラム重点強化期間」の2年間、続く平成19年度、「地域密着型金融(リレーションシップバンキング)」に関する機能強化を図ってまいりました。

現在当組合は、お客様・組合員及び地域社会にとって必要不可欠な金融機関となるため、「けんみん信組新生プラン」を定め取組んでおります。その一環として、これまで以上に事業者のみなさまに対して事業の発展・再生に対する支援体制の強化に取り組むとともに、地域利用者の利便性の向上に努めております。

つきましては、平成20年度(平成20年4月～21年3月)の取組み状況を別紙要約様式に取りまとめ、掲載いたしましたのでご高覧下さい。

けんみんの グッドパートナー



山梨県民信用組合

◆ 平成20年度(20年4月から21年3月)の取組み状況

当組合は平成19年度より「地域密着型金融」を恒久的な取組みと位置付け、当組合と関わりのあるもの全ての健全な発展と持続に向けての機能強化を図っております。

本業である金融商品・サービスの提供、職員教育の充実はもとより、地域に根ざした信用組合としての地域社会への貢献を主とし、具体的には「取引先企業への支援強化」「中小企業に適した資金供給手法の徹底」「地域経済への貢献」等について取組みました。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

- 創業・新事業支援
地域経済の担い手である中小零細事業の沈滞化が進む中、活性化を促すべく、創業及び新規事業への積極的支援を行いました。
- 経営改善支援
金融機関の立場から収益性の向上や生産性の向上に資する助言を行うなど、経営改善及び財務改善をサポート致しました。
- 事業再生支援
債務者の事業再生強化策として、外部から人材を招聘のうえ、企業支援専担部署「企業支援部」を発足し、債務者の業績改善を第一とし取組みました。

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

- 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の取組み
事業特性上、一時的に不動産担保額を超える資金を要する事業者に対し、動産担保を設定することで資金繰りの円滑化を図りました。
- 「目利き機能」の発揮に向けた取組み
良質な融資の増加を図るため、企業の財務分析及び経営管理分析を的確に成せる能力を身につけるべく取組みました。
事業再生経営支援に取組むため、定期的な内外の研修受講、あるいは外部講師を招いての融資担当者研修会を開催し、企業分析力の向上を図りました。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

- 地域経済の活性化につながる多様なサービスの提供
富士山の世界文化遺産登録を目指す活動への協賛や、山梨県中小企業中央会主催「中小企業組合まつり」への協賛など、地域社会貢献に取組みました。

(山梨県民信用組合)

個別項目	取組み内容	取組み結果等
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化		
(1) 創業・新規事業支援		
○ 創業・新規事業支援への取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・起業者に対して公的制度融資による資金調達方法の紹介を行い、創業等の支援を行えるよう、営業活動を通じての案件発掘に注力した。 ・営業活動を通じて集積される情報の精度や実現性の判断に当たる担当者の育成に資するべく、山梨県信用組合協会主催の研修「目利き力強化A」、「目利き力強化B」に職員を派遣した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・創業及び新規事業に関わる相談に対し、山梨県制度融資にて4件900万円の融資取り扱いを行った。
(2) 経営改善支援		
○ 支援先に対する経営改善支援の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度は64グループ141先を支援先として選定し、債務者毎に組合としての取組方針を明確化するとともに、月例訪問を実施した。 ・代表者に対する面談に先立ち、決算書分析に基づく問題点及び改善項目の洗い出しを実施。事業の‘強み’‘弱み’‘財務内容’等自社が有する特徴を明確に示すことで、代表者自らの認識を促した。 ・建設業者への月例訪問時には、工事積算からの粗利益の確認や資金繰り表に基づく支出状況への助言を行うなど、より具体的な財務指導を実施した。 ・管理費削減による財務改善を主とした経営改善計画の策定に代表者自身の積極的な関与を求めることで、赤字体質の解消と計数管理の強化を図っている。 ・経営改善計画の策定に当たっては、中小企業診断士からの助言を受けることで、実現可能性向上に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者による計数管理が十分に成されていないが、月例ヒアリングを通じて徐々にではあるが、計数に対する意識強化が図られつつある。 ・財務改善に取り組む代表者の意識改革が進み、代表者自ら率先して経費の圧縮に努める姿勢が見受けられるようになりつつある。

個別項目	取組み内容	取組み結果等
(3)事業再生支援		
<p>○外部人材招聘による事業再生に向けた取組み強化策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業再生に向けた再生スキームの草案作成への関与を強化した。 ・山梨県中小企業再生支援協議会への事業再生に関わる相談業務の橋渡しを積極的に実施した。 ・債務者往訪に際し外部招聘人員と他職員が同行することで、事業再生支援に関するノウハウの蓄積に努めた。 ・山梨県中小企業再生支援協議会職員による事業再生に関する研修会の開催及び同協議会への職員派遣を通じて、職員のスキルアップに努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・山梨県中小企業再生支援協議会への当組合を通じての相談利用先数は11先であった。 ・事業再生支援に関するノウハウの蓄積を見える形で示すことは困難であるが、支援担当者のスキルは着実に向上を見せている。
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金提供手法の徹底		
(1)不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の取組み		
<p>○動産担保(ABL)への取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・嗜好品製造販売事業者に対し、資金繰りの円滑化を目的として動産担保融資の設定を打診。完成品に対する設定が適当な状況ではなかったことから、仕掛品を対象として動産譲渡担保を設定した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実績となった債務者の資金繰りの円滑化には十分な貢献できたと認識している。
(2)「目利き機能」の発揮に向けた取組み		
<p>○融資審査能力の向上等人材の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・融資担当者および役席者のスキルアップを目的に、全国信用組合中央協会や山梨県信用組合協会が主催する研修会に派遣した。 ・毎月1回の融資担当者及び役席者のレベルに見合った内部研修を融資部が主催し、職員のレベルアップに努めた。 ・審査能力の向上及び業種別審査担当者の育成のため、融資部担当者の情報の共有化を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・審査能力の変化を目に見える形で示すことは困難であるが、融資担当者のスキルは着実に向上を見せている。

個別項目	取組み内容	取組み結果等
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献		
(1) 地域経済の活性化につながる多様なサービスの提供		
<p>○ 地域社会への貢献</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・山梨県をホームとするJリーグ(ディビジョン2)加盟のヴァンフォーレ甲府の活動に協賛し、ホーム開催時にグラウンド配置の広告看板を掲示した。 ・富士山及び周辺地域の世界文化遺産登録を目指す官民一体での活動に協賛し、役職員287名が参加して富士五湖周辺7箇所における清掃活動を実施した。 ・県都甲府市にて開催の「甲府大好き祭り」への協賛活動として、参加イベントであるダンスパレードに40名参加した。 ・山梨県中小企業中央会主催「中小企業組合まつり」への協賛活動として、祭事会場に模擬店を出店した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヴァンフォーレ甲府主催試合における広告看板設置を行うことで、地元プロスポーツチームの経営安定化及び地域活性化に貢献した。 ・富士五湖周辺の清掃活動を通じ、観光立県を目指す山梨県を拠点とする地域信用組合としての社会的責任の一端を果たした。 ・各種イベントに人的支援を行うことで、官民連携しての活性化事業の成功に貢献した。